

みんなの力で高齢者虐待を防止しましょう！

高齢者虐待は、高齢者の心身の状態に重大な影響を与え、生命を奪うこともあります。そのため、高齢者の尊厳を地域で見守っていくために、虐待の早期発見・早期対応が重要です。

虐待の通報をすることはかなり勇気がいることと思われそうですが、その周囲の人や関係機関の気づきによって、高齢者の生活や権利が守られるのです。

こんなことが虐待になります

★ 身体的虐待

- ・平手打ちをする。つねる。殴る。蹴る。やけど、打撲をさせる。
- ・外から鍵をかけて閉じ込める。中から鍵をかけて長時間家の中に入れない。など

★ 心理的虐待

- ・老化現象やそれに伴う言動などを嘲笑したり、それを人前で話すなどにより、高齢者に恥をかかせる（排泄の失敗、食べこぼしなど）。
- ・怒鳴る、ののしる、悪口を言う。など

★ 介護・世話の放棄・放任

- ・入浴しておらず異臭がする、髪や爪が伸び放題だったり、皮膚や衣類、寝具が汚れている。
- ・室内にごみを放置する、冷暖房を使わせないなど、劣悪な住環境の中で生活をさせる。など

★ 性的虐待

- ・排泄の失敗に対して懲罰的に下半身を裸にして放置する。
- ・人前で排泄行為をさせる、おむつ交換をする。など

★ 経済的虐待

- ・日常生活に必要な金銭を渡さない、使わせない。
- ・年金や預貯金を無断で使用する。など

早期発見をするためには

虐待をしている人は虐待をしているという認識がない場合があります。また、高齢者本人もその家族をかばったりして、自ら被害を訴えない傾向があります。そのため、なかなか周囲からは高齢者の異変を発見しにくいものです。

高齢者の異変を早期に発見し、深刻化を防ぐためには、地域社会が高齢者の権利と尊厳に関する認識を深めていくことが大切であり、高齢者に起こる異変（サイン）を知る必要があります。

◆ 高齢者の気になるサイン

- ・頭や顔や頭皮などに傷がある。 ・身体にかなりの異臭がする。 ・過度の恐怖心、おびえを示す。
- ・自傷行為がある。 ・財政的には困っていないはずなのに、お金がないと訴える。など

気になる高齢者がいたら

周囲に気になる高齢者がいたら、地域包括支援センターまでご相談ください（相談の内容は、あくまでも知っている範囲での情報提供で構いません）。



随時募集！

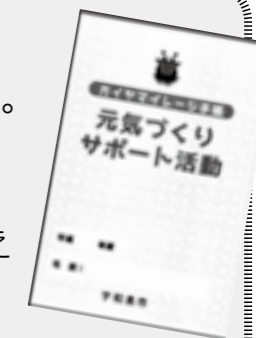
元気づくりサポーター（介護予防ボランティア）募集のお知らせ

地域包括支援センターでは、高齢者の元気づくり（介護予防）に、ご協力いただける「元気づくりサポーター（以下サポーター）」を随時募集いたします。

地域包括支援センターに申込みをし、登録後、活動をしていきます。年齢制限はありませんので、ボランティアに興味関心のある方等、是非お申込み下さい。

【サポーターの活動とは？】

1. サポーター連絡会（10月、2月頃開催予定）に参加が必要です。
2. ご自分に合った活動を選んで実施していきます。
≪活動の種類 3種類≫ 選択
 - ① 地域の高齢者の集まり等で「うわじまガイヤ健康体操」を伝えます。
 - ② 地域の高齢者の集まり等で「手作りテーション」を伝えます。
※手作りテーションとは、南愛媛医療アカデミー（作業療法士養成校）独自の方法で、費用がかからず簡単に誰でもできる作品を（手作りで）作りあげていくものです。
詳しくは下記にお問合せください。
 - ③ 地域包括支援センターが実施するイベント、認知症カフェ等に協力をします。
3. 活動することで、65歳以上のサポーターに限りガイヤマイレージ制度のポイントが付与されます（活動1回2ポイント）。



～活動しているサポーターの声～

- ・みんなで集まり、体操や笑ったり会話ができるのが楽しい。元気になれる。
- ・仲間づくりができてうれしい。
- ・役割をもつことで、自分の生きがいや認知症予防になっている。等



ご自身の元気づくりにも役立つボランティア活動、皆で一緒に取組みませんか！
お気軽にお申込みください。お待ちしております。

【相談・申込み先】

宇和島市役所高齢者福祉課 地域包括支援センター

☎：49-7019